

小平市議会定例会 一般質問通告書

再質問の方式 一問一答方式

質問件名 防災備蓄品を無駄なく消費する回転備蓄を進めよう

【質問要旨】

東日本大震災以降、災害の被害想定が見直され多くの自治体で食糧などの備蓄量を増やしています。備蓄食品は5年前後で賞味期限を迎えるものが多く、毎日新聞社が全国47都道府県と20政令都市にアンケートを行ったところ、62自治体のうち3割近い17自治体が、2010年から2014年までの5年間で176万食にのぼる備蓄食品を廃棄していたということがわかりました。

小平市でも災害に備え、食糧や日用品をはじめ多くの物資を備蓄しています。それら備蓄品は実態に合ったものが整備されているのか、備蓄食糧以外にも衛生用品など入れ替えが必要なものについて廃棄されることなく活用されているか。また災害が起こった時に使えるように維持されているかについて以下質問をします。

- ① 災害備蓄用クラッカー、粉ミルク、アルファ米などの食糧備蓄品はそれぞれどのようなサイクルで入れ替えを行っていますか？また、入れ替え後の活用方法は。
- ② 乳児のために粉ミルクや哺乳瓶を備蓄していますが、災害時には哺乳瓶の消毒やお湯が使えないことが予想されます。液体ミルクを回転備蓄することについて市の見解は。
- ③ 衛生用品（生理用品や紙おむつなど）の入れ替えは何年ごとに行っていますか。また、入れ替え後の活用方法は。
- ④ 災害に備えた医薬品の備蓄状況を教えてください。また糖尿病や高血圧等、慢性疾患用の処方薬の備蓄が必要と考えるが市の見解は。
- ⑤ 防災備蓄品の点検はどのように行っていますか。また食糧以外の備蓄品の劣化状況について点検はしていますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2018年5月28日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【 】

27	26	25	24

-(/)